

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
2000.6.22 No. 5154

夏季手当昨年下回る1・72箇月 貨物会社の超低額回答を弾劾する

貨物会社は、六月二十一日夏季手当の回答を行ったが、その回答内容は「一・七二ヶ月・七月五日支払い」という昨年をさらに〇・〇三ヶ月下回る超低額回答である。また五五歳以上の労働者についてのみ、今回かぎりとして通常の成績率の扱いの他に、一％の成績率を加算する措置を行なうことを回答した。

われわれは、今春闘のベアゼロ回答にひき続く、この超低額・格差回答に怒りをもつて弾劾する。

貨物のベアゼロに続く夏季手当の超低額回答は、貨物で働く労働者の生活を直撃している。とりわけ五五歳以上の労働者は、基本給の七〇％減額に加え、定期昇給が一切行われないうえに、超低額の夏季手当では実質的な賃金引き下げということだ。

貨物の期末手当は、ここ数年毎年支払い率が低下している(日刊五一四六号参照)。とりわけ九八年は対前年比マインス〇・四七五ヶ月、九九年は同〇・七三五ヶ月と大きく低下した。これによりベアの低額回答(九八年六百円、九九年百円)とあいまって、年収で前年を下回る労働者が

続出するなど、生活にも大きな影響を与えている。今回の回答は、こうした低賃金水準を固定化するものであり、より一層の労働者へのシワよせに他ならない。

貨物会社は、今年度の経営計画で「黒字化」の計画を公表しているが、その内実がこうした労働者への犠牲の転嫁の上に立つものであるならば、とうてい容認できるものではない。貨物会社は、今回の超低額回答を撤回し、労働者の要求に沿った回答を行え。

さらにこうした超低額回答を容認する日貨労を、労働者の怒りで弾劾し、解体しよう。

(注) 表は交通新聞等に公表されたものを記載した。

J R 各社の回答状況

会社	西日本	東海	東日本
支払い率	2・66	2・7	2・6
対前年比	△0・05	0	0
四国	九州	北海道	貨物
2・475	2・55		1・72
0	+0・02		△0・03

貨物会社の回答他

- 夏季手当回答
- 一、基準額
基準額は基準内賃金の一・七二箇月分。
- 二、支給日
七月五日以降、準備出来次第。
- 三、その他
五五歳到達社員への取り扱いは、昨年未手当と同様に扱う。
- 役員報酬及び管理職手当の一部カット
- 一、役員報酬について
会長、社長の10%、その他役員5%
- 二、管理職社員の手当について
管理職手当5%
- 三、実施時期
七月から当分の間
- その他
五五歳以上の社員については、今回限りの措置として、通常の成績率の他に一％の成績率を加算する。

7・2 三里塚現地集会へ 全力結集しよう

「暫定滑走路建設阻止、7・2総決起集会」
日時 7月2日(日) 正午から
場所 成田市東峰(萩原さん宅畑)
集合 JR成田駅改札10時30分